

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

支所名	下甌支所	支所長名	原崎 岩雄
-----	------	------	-------

支所の 経営資源	構成人員	計	職員	嘱託	計
			35人	16人	51人

部局の使命 (組織の存在価値)	下甌支所の使命は、住民が安全で安心していつまでも住み続けたいと思えるまちにすることである。 (1) 市民と一体となつてともに考え、地域振興を図る。 (2) 安心安全のシステムを確立する。	組織目標像	【支所の目標像】 (1) 6地区コミュニティ協議会と連携がとれ、地域が活性化している。 (2) 本庁との連携により、事業の推進が図られている。 (3) 何事にも挑戦する職員 (4) スピーディな対応で質の高いサービスの支所 (5) 情報を共有化し、連携がとれた支所
---------------------------	---	--------------	--

平成 2 1 年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

重点事項	具体的な成果目標(めざそう値)	具体的な取組内容	進捗状況(年度中間)	年度末の達成状況
共生・協働の推進	(1) 地区振興計画見直し作業への協力	地区の話合いへの参加 地区振興計画の策定支援 地区行事への参加	地区振興計画策定も計画通り進んでいる。運動会や地区行事への参加も積極的に行っている	地区振興計画全地区策定済み 地区行事への参加も積極的にできた。
安全安心な地域づくり	(1) 高齢者の安全体制について本年度中にシステムを構築する	高齢者を見守るシステム構築 関係団体連絡会を開催 コミュニティ協議会等との連携強化 緊急避難訓練等の開催	高齢者の状況等を調査し、民生委員、消防、市との協議を実施した 今後コミュニティを含めて協議を進めていく 11月に消防と協力して開催予定	高齢者の状況について調査 民生委員、消防、市とで協議 コミュニティとの協議を実施 11月に緊急避難訓練を実施した
スピーディで質の高いサービス提供	(1) 支所内・課内会議の実施 (2) 本庁会議・各種研修会内容職員通知	支所内・課内会議の実施(週一回) 職員ポータル活用の活用 職員の研修機会の確保	支所内、課内会議は週1回実施している 活用が進んでいるがまだ活用する必要がある それぞれの研修に参加している	予定通り実施できた 各職員の行事予定等入力不十分である それぞれが積極的に業務研修等に参加した
職員の挑戦	(1) 職員学習意欲の向上	勉強会、研究会等開設	下甌支所だより発行のため職員の連絡会を設置した	「支所だより」を8号発行した

部 局 経 営 方 針

平成 2 1 年度

薩摩川内市

観光振興	(1) 交流活動の推進	観光協会組織強化への支援 かのこゲートボール大会の開催 「海辺の学校 IN こしき」開催 「甌島のトシドン」ユネスコ無形文化遺産登録記念事業の推進 竜宮文化フェスタの開催 ブルー・ツーリズム事業の充実	もう少し取り組みが必要である 7月に開催済み 8月に開催済み 9月30日に登録されたため取り組み中 11月8日開催 3件の事業が実施された 参加者 37名	観光協会会員の確保が図られた(24名) 7月開催 8月開催 11月に講演会、12月に行事が開催された 3件で約37名参加
住環境整備	(1) 交通・上下水道基盤整備	道路環境の整備促進 漁業集落排水事業の推進 水道管等改修の促進	支所のできる部分については早めに実施している 事業実施中である 事業実施中である	内川内集落道、片野浦・瀬々野浦線、青瀬線など整備 予定通り進行中である 予定通り実施中である
農林水産業の振興	(1) 農業・水産業の振興	草地林地開発事業の推進 漁業集落活動への支援 (離島漁業再生支援交付金事業の推進)	地権者との話し合いを進めながら取り組んでいる 集落の取り組みに対して支援している	事業実施中である 当年度分については順調に取り組みができた
度中間総括	おおむね予定通り進捗しているが、観光協会の組織強化等の支援が遅れ気味であるので、協会と連携して取り組みたい。			
度末総括	事業についてはおおむね順調に進んだ。観光協会も会員確保が出来たので、今後の事業展開が期待される。職員はさらに自己啓発・自己研鑽に取り組み、新たなことに挑戦する必要がある。			